R&Dフェーズ｜研究　**実用化時期**｜FY28-

Mehr Licht!
More Photonics for Intelligence

#A09

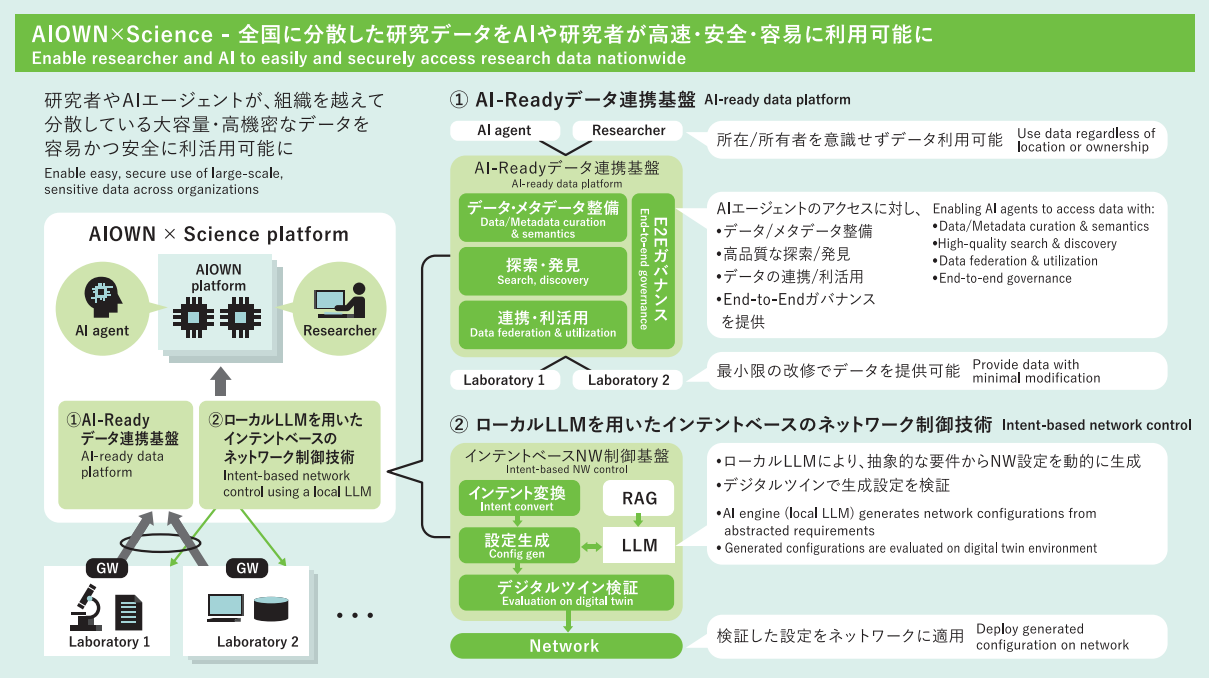
#DX・AX（デジタル変革）#オープンイノベーション

AIOWN × Science

散在するデータを高速・安全につなぎ、容易に利用可能とし、組織を越えた協創を実現します

技術課題・ゴール

・AI活用の拡大に伴い、全国の組織に分散するデータを安全につなぎ、課題解決や新たな価値創出に活かすことが求められています。
・例えば学術分野では、未公開情報を含む研究データを研究機関や企業間で安全に共有し、産学で共同研究を進めることが特に重要となってきています。
・本技術はデータや計算資源を高速・安全・容易に共有・活用可能とすることで、AI時代に向けた組織横断の協創基盤を実現します。



技術ポイント

要素技術

・組織をまたがって分散されているデータの統合管理技術およびデータのAI-Ready化技術
・ローカルLLMを活用したインテントベースネットワーク制御技術

市中技術差異点

・組織内だけでなく組織間のデータを共有可能とし、かつデータをAIやユーザが利用・共有しやすくするための機能を提供
・LLMを用いたネットワーク設定の自動生成により、多様な要件に柔軟に対応可能

適用ビジネス/ユースケース

教育

大学や研究機関の研究活動において、本技術を用いることで、それぞれの研究拠点が持つ種々様々のデータを高速・安全・容易に共有・利用することが可能になります。さらにAIエージェントによるデータ利活用をサポートし、組織や場所を越えた高度な研究活動の加速を実現します。

出展組織

NTT株式会社 コンピューティングテクノロジーセンタ
NTT株式会社 ネットワークテクノロジーセンタ